

研究機関：広島大学

研究課題名	経カテーテル的大動脈弁植込み術におけるハイレートペースング施行時の血圧低下阻害因子、ハイレートペースング施行後の血圧上昇阻害因子の検討
研究責任者名	広島大学病院診療支援部臨床工学部門 副部門長 宮本 聡史
研究期間	2021年9月3日(倫理委員会承認後)～2024年7月20日
対象者	2016年6月から2020年6月の間に、経カテーテル的大動脈置換術を行った患者。
意義・目的	経カテーテル的大動脈弁植込み術を施行する場合は、ハイレートペースングを行い、血圧を低下させる必要があります。ハイレートペースングは最適な位置への弁留置が可能になりますが、十分な血圧低下を確認する必要があります。また長いハイレートペースングは低血圧の蔓延を来す可能性があります。しかし、血圧低下速度、また弁留置後のハイレートペースング停止後の血圧上昇速度には個人差があり、その阻害因子は解明されていません。今回、ハイレートペースング時の血圧低下時間、ハイレートペースング後の血圧上昇時間を調査し、その予測阻害因子を明らかにするために、研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)・術中データ情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査、術前心エコー検査等、術中データは血圧、薬剤投与履歴等です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	当施設のみでの研究になります。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院診療支援部臨床工学部門 副部門長 宮本 聡史
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5158 広島大学病院診療支援部臨床工学部門臨床工学技士 中尾 司